

MSV2 空冷ヒートポンプチラー 導入事例

導入事例

研究施設 | 株式会社サカタのタネ 掛川総合研究センター様

導入機器:空冷ヒートポンプチラー

/MSV1502P2F×4 台

サカタブランドの種の研究施設

種子を提供している国は 170 カ国以上、優れた品種の育成を軸にした研究開発企業「サカタのタネ」掛川総合研究センター様は、多様なニーズを満たす品種を提供するため、花と野菜の開発と病理・育種工学研究の拠点として、ガラス温室、育苗畑で日々研究開発を行っています。

今回、ガラス温室向け暖房用の灯油焚きボイラ、冷房用の吸収冷凍機を更新の際、冷暖の切替が一機種で可能となる空冷ヒートポンプチラー「MSV2」を導入いただきました。

冷暖混在制御で操作を簡素化

今までは冷房・暖房で熱源が違う為、切替の手間がかかっていましたが、リモコン操作で簡単に実施できるようになりました。また灯油使用量が削減されたことにより、 CO_2 排出量も削減されました。環境にやさしい省工ネのMSV2は、今後のランニングコストの削減に貢献していきます。

冷却能力:150kW(12→7℃) MSVリモコン:運転モニタ・冷暖混在制御

加熱能力:148kW(50→55°C) MSVコントローラ:台数制御 内蔵ポンプ:2.2kW 冷水 2 次ポンプ:549.8l/min、 温水 2 次ポンプ:533.0l/min

【システム図】



冷暖混在制御が可能に

運用時期や負荷に応じて冷却、加熱台数の振り分けを変更できます。 また、冷温混在運転設定がリモコンのカレンダ機能で楽々設定可能。



温水負荷【冬季】

(中間期) 冷冷暖暖 【夏季】冷水負荷

中間期対応で1年中快適環境

導入担当者様の声

- ・保全工数・コストが低減し、運用が非常に楽に なりました。
- ・今までは冷房・暖房で熱源が違う為、冷房暖房 時の切替が大変でしたが、リモコン一つで切替 が可能となり、操作性がよく満足しています。





